

文学部及び文学部各学科のアドミッション・ポリシー

教育の理念・目標

文学部は、人間の文化的・社会的営為に関する人類の叡智を継承し、ことばと文学、歴史と文化遺産、和食文化にかかわる専門領域を深く教育・研究するとともに、その成果を広く社会に還元します。さらに現代社会・地域社会が提起する諸課題にこたえるために、知の拠点として、つねに新たな教育・研究領域を開拓することを目指し、次のような人材の育成を目標とします。

1. 人文学のたゆまぬ研究と教育を通じて、幅広い教養を備えるとともに、豊かな人間性と高度な専門性を身に付けた人材を育成します。
2. 幅広い教養と専門知識を融合させ、総合的な視野や多様な価値観を養うことにより、地域文化・地域課題をにない、また、国際化社会にも貢献しうる人材を育成します。

アドミッション・ポリシー

文学部では、次のような能力を身につけている学生を求め、入学者選抜の方針を定めます。

【入学前に身につけているべき知識および能力】

- 1 高等学校等で修得する十分な基礎学力
- 2 日本語および外国語を通じた異文化理解
- 3 知識や経験を総合し、課題解決に導く思考力
- 4 日本および世界の文化・歴史に対する正確な知識
- 5 自己の見解を的確に示す表現力や論述力
- 6 学校内外での主体的な取り組みや他者との協働活動
- 7 志望分野に対する問題意識

【入学者選抜の方針】

文学部では、こうした能力を考査し、入学者を選抜するために、大学入学共通テストと個別学力検査を組み合わせた一般選抜のほか、学校推薦型選抜を実施します。

各選抜における審査の観点や判定方法等は、各学科がそれぞれ具体的に定めています。

〔日本・中国文学科〕

日本・中国文学科は、日本と中国の言語・文学について探究することを目的として、日本語学・日本文学・中国文学について、相互の関連を踏まえながら専門的な教育・研究を行い、各分野について深い知識を持ち、かつ三分野を関連づけて思考することのできる人材を養成します。

アドミッション・ポリシー

日本・中国文学科では、日本や中国の言語や文学に対して強い関心を持ち、同時に人間や社会に対して幅広く目を向け、自ら問題を発見し、解決しようとする意力を備え、また、文献の読解に取り組む粘り強さと、多角的な視点からものごとを見る柔軟さを持った学生を求めます。そのために必要な能力は以下のとおりです。

【入学前に身につけているべき知識および能力】

- 1 高等学校等で修得する諸教科についての十分な基礎学力
- 2 異文化理解に資する外国語・日本語の運用能力
- 3 日本や中国の文化を言語や文字などを通して考察できる能力
- 4 世界、特に日本・中国の文化・歴史に対する正確な知識
- 5 自らの問題意識を論理的・客観的に文章化して表現する能力
- 6 主体性を持って他者と協働する能力
- 7 日本語学・日本文学・中国文学に対する問題意識

【入学者選抜の方針】

日本・中国文学科は、こうした能力を考査し、入学者を選抜するために、大学入学共通テストおよび個別学力検査（調査書を含む）を組み合わせた一般選抜のほか、学校推薦型選抜を実施します。

●一般選抜（前期日程）

上記1～4については、基本的な能力は大学入学共通テストにより、また、1～4の応用的な能力および5については、記述式問題を重視した3教科（国語、外国語、歴史）の個別学力検査によるバランスのとれた学力を考査します。

●一般選抜（後期日程）

上記1～4についての基本的な能力は大学入学共通テストにより、また、1～4の応用的な能力および5については記述式問題を重視した個別学力検査により国語に関して秀でた学力を考查します。

●学校推薦型選抜

上記1～4についての基本的な能力および6・7については推薦書・調査書・志望理由書により確認するとともに、1～4の応用的な能力および5については小論文問題により考查し、入学者を選抜します。

〔欧米言語文化学科〕

欧米言語文化学科は、多文化共生の時代に必要な異文化理解を深めることを目的として、欧米言語文化・英語学英語教育学・国際文化交流・日英翻訳文化の教育研究を行い、高度な外国語運用能力・柔軟な思考力・問題発見能力・自己表現力を備えた、広い国際的視野を持った人材を養成します。

アドミッション・ポリシー

欧米言語文化学科では、広い視野と関心を持って、独自の視点から問題を探求し、客観的かつ多面的考察・分析を行い、その成果を論理的な言葉で表現できる人材を育成します。入学者選抜にあたってはこうした欧米言語文化の研究方法に対する能力・適性を考查します。したがって本学科では、以下のとおりアドミッション・ポリシーを定めています。

【入学前に身につけているべき知識および能力】

- 1 教養の基礎となる高等学校等で履修する基本的な知識と理解力
- 2 日本語と外国語の優れた言語能力
- 3 言葉の力や人類が培ってきた様々な思想を理解するための共感能力、柔軟な思考力と問題把握能力
- 4 過去から現代に至る欧米と日本の文化・社会に強い関心を持ち、言葉の仕組み、機能を理解し、思考する能力
- 5 自ら見出した問題を論理的に考え、自分の言葉で表現する能力
- 6 学校内外での主体的な取り組みや他者との協働活動への意欲
- 7 欧米言語文化に対する問題意識

【入学者選抜の方針】

欧米言語文化学科は、こうした能力を考查し、入学者を選抜するために、大学入学共通テストおよび個別学力検査（調査書を含む）を組み合わせた一般選抜のほか、学校推薦型選抜を実施します。

●一般選抜（前期日程）

上記1～4の基本的な知識および理解を考查する大学入学共通テストと1～4の応用力と5について個別学力検査により考查します。

●一般選抜（後期日程）

上記1～4の基本的な知識および理解を考查する大学入学共通テストと、1～4の応用力および5については記述式問題を重視した個別学力検査により外国語に関して秀でた学力を考查します。

●学校推薦型選抜

上記1～4の基本的な能力および6・7については推薦書・調査書・志望理由書により確認するとともに、1～4の応用力および5については小論文問題により考查し、総合的に入学者を選抜します。

〔歴史学科〕

歴史学科は、人間の文化的・社会的営為について歴史と文化遺産に関わる専門的領域を考究することを目的として、日本を中心として広く世界についてその社会と文化、思想の歴史的展開に関する教育研究を行い、人類の過去と現在、未来に対する洞察力、分析力をもつ人材、さらに歴史的遺産を理解しその継承に資する人材を養成します。

アドミッション・ポリシー

歴史学科では歴史学に対する深く幅広い知見を備え、資史料を運用する能力、文化遺産を調査・保存・活用する能力を備えた人材を育成します。入学試験にあたっては、こうした歴史学の研究方法に対する能力・適性を考查し、入学者を選抜します。本学科では、そのために以下のとおりアドミッション・ポリシーを定めています。

【入学前に身につけているべき知識および能力】

- 1 高等学校等で修得する諸教科、とりわけ国語、外国語、地理歴史についての十分な基礎学力
- 2 自国の文化及び異文化に対する十分な理解
- 3 歴史研究の基礎となる資料や文献の読解に必要な思考力・解釈力・想像力
- 4 日本および世界の歴史に対する正確な知識
- 5 自己の見解を的確に示す表現力や論述力
- 6 学校内外での主体的な取り組みや、他者と協働する協調性
- 7 歴史学に対する深い関心、文化遺産の調査・保存・活用に対する強い意欲

【入学者選抜の方針】

歴史学科では、こうした能力を考査し、入学者を選抜するために、大学入学共通テストおよび個別学力検査（調査書を含む）を組み合わせた一般選抜のほか、学校推薦型選抜を実施します。

●一般選抜（前期日程）

上記1～4についての基本的な能力は、大学入学共通テストにより、また、1～4の応用的な能力および5については、記述式問題を重視した3教科の個別学力試験により評価します。

●一般選抜（後期日程）

上記1～4についての基本的な能力は、大学入学共通テストにより、また、1～4の応用的な能力および5については、記述式問題を重視した個別学力試験により評価し、日本および世界の歴史に秀でた学生を選抜します。

●学校推薦型選抜

上記1～7についての基本的な能力は、推薦書・調査書・志望理由書によって確認するとともに、1～4の応用的な能力および5については、小論文などによって評価し、入学者を選抜します。

〔和食文化学科〕

和食文化学科は、日本人の伝統的な食文化に内在する普遍的価値を探究することを目的として、生活文化としての食を歴史的・文学的に読み解くとともに、産業としての食の可能性に技術的・経営的な側面から迫る教育研究を行い、和食文化の神髄と魅力を世界に向かって発信し、日本における和食文化の保護・継承・発展に寄与できる人材を養成します。

アドミッション・ポリシー

和食文化学科では、和食文化全般に対して強い関心を持ち、同時に人間や社会全般に対して幅広く目を向け、自ら問題を発見し、解決しようという意欲を備え、また文献の読解に取り組む粘り強さと、多角的な視点からものごとを見る柔軟さを持った学生を求めます。そのために必要な能力は以下のとおりです。

【入学前に身につけているべき知識および能力】

- 1 高等学校等で修得する諸教科についての十分な基礎学力
- 2 異文化理解に資する日本語・外国語の運用能力
- 3 和食文化研究の基礎となる文献の読解や実験に必要な思考力
- 4 自国の自然・歴史・文化及び異文化に対する幅広い知識
- 5 自らの問題意識を論理的・客観的に表現する能力
- 6 主体性をもって異なる立場・専門・文化を有する他者と協働する能力
- 7 食に関わる自然現象と社会が抱える諸課題の解決に対する関心
- 8 食文化への好奇心と学びに対する意欲

【入学者選抜の方針】

和食文化学科では、こうした能力を考査し、入学者を選抜するために、大学入学共通テストおよび個別学力検査（調査書を含む）を組み合わせた一般選抜のほか、学校推薦型選抜を実施します。

●一般選抜（前期日程）

上記1～4についての基本的な能力を考査する大学入学共通テストと、1～5の応用的な能力を考査する記述式問題を重視した個別学力検査により評価し、入学者を選抜します。

●一般選抜（後期日程）

上記1～4についての基本的な能力を考査する大学入学共通テストと、1～5の応用的な能力および7について個別学力検査により、食を取り巻く社会課題への関心と理解の深さを評価し、入学者を選抜します。

●学校推薦型選抜

上記1～8の基本的な能力は推薦書・調査書・志望理由書によって確認し、1～5の応用的な能力については小論文によって評価し、入学者を選抜します。